

東京納税貯蓄組合総連合会会長賞

税の大切さが分かった旅行

日本工業大学駒場中学校 三年

中里 祐太

僕はこの夏休みに北海道へ旅行で行きました。初日に釧路湿原国立公園に行きました。そこでは手付かずの自然とたくさん野生動物に癒されました。僕はなぜこのような自然がのこっている無料で公園に入ることができるのかが気になりました。そこで財務省と環境省のページで調べてみると、「公園水道廃棄物処理等施設整備費」という税金によって維持されていることが分かりました。なんとその内の自然(国立)公園への予算は二〇一八年度で七十六億円にもおよびます。もし税金が使われていなかったら荒廃し自然がなくなっていたかもしれません。

僕はその日の宿に向かうときにタンチョウヅルをみました。タンチョウは一時国内で三十三羽まで減りましたが、国の天然記念物に指定し、税金を用いた国などによる保護政策により千三百羽程度にふやすことができた鳥です。もしこのような政策がとられていなかったらまちがいなく絶滅していたといわれています。

その翌日(七月三十日)僕は釧路から根室へ向けて沿岸部を走る花咲線に乗りました。その乗車中に警報がなりました。津波警報でした。高台の駅まで走行し、七時間ほど待機しました。一方

もともと向っていくはずだった根室市花咲では八十センチメートルの津波を観測したそうです。今回はもともと津波注意報だったので運行がつづく予定でした。ですが津波警報と切りかわったため高台の駅にとどまることができました。この津波予測は国の「気象庁関係予算」という税金からおこなわれています。僕はこのような予算があつて、そこから研究をし、予測ができたから無事なのだとあらためてわかりました。

いままでとりあげた3つは基本的に国税という国が集めて利用する税金によってまかなわれています。国税の中には消費税があり、中学生でも今回のような税金として協力することができます。今回の旅行では予算の一部に東京都が都内に住む0歳から18歳の子供に毎月五千円を支給してくださる「018サポート」を使用しました。「018サポート」は東京都が行う事業のため地方税によって財源を得ています。地方税は主に住民税や事業税などです。まだ僕は住民税や事業税をおさめることはありません。ですが、大人のみなさんが税金をしつかりおさめてくださることで僕たちがこのようなサポートを受け、知見を深められると思うと本当にありがたいと思いました。

僕はこの旅でたくさん自然を見ました。それはみんな国によって守られていました。津波による影響も受けましたが、気象庁による津波予測によって無事でいられました。そして「018サポート」のおかげで旅行がよりよいものになりました。全て皆が納税をしているからできることです。だから僕は未来のために納税が大切だと思います。